

2011.9.1

こんにちわ～ると

No.39

半田国際交流協会だより

「暮らしの日本語」講座 開講中



7月から「暮らしの日本語ステップアップ講座」が始まりました。日本の生活の中で必要な言葉を覚えながら、地域活動への参加体験、野外学習なども行います。講座は金曜10:00～12:00開講、11月まで続きます。

はじめまして。今年度の「暮らしの日本語」担当の秋田です。半田市の外国人の方はフレンドリーで勉強熱心な方ばかり。毎週とても楽しく授業をしています。授業は毎日の生活をテーマにした内容です。また、屋外へ出て施設の見学をしたり、体験をしたり、各方面の皆さんとのご協力を得ながら、実践を重視した内容にもなっています。外国人目線で見る日本の社会は新鮮で、日本人としても勉強になることばかりです。残り3ヶ月ですが、最後までよろしくお願ひします。



▲秋田先生

半田中学校見学



▲山崎校長先生

7月15日、さっそく課外授業です。この日は半田中学校を訪問させていただきました。授業を見学した外国人生徒さんの感想は、「子どもたちが明るくて元気!」「先生がやさしい」「校舎が広くてきれい」「被服室で男女一緒に家庭科の勉強は将来役に立つ!」など、感心の声ばかりでした。見学の後は、山崎校長先生、山中教頭先生との対談が行われました。一生懸命考えた質問を日本語で聞き、母国との比較をしながら日本の学校教育について知識を深めることができました。



▲井坂先生

半田警察署見学

7月29日は半田警察署を訪問しました。警察官の装備やパトカーの設備について説明を受けた後、署員から緊急時の通報や交通ルール、防犯、防災のことなど、日常生活に関する話を聞きました。外国人生徒さんはメモを取りながら署員の話を聞き、日常生活と警察とのかかわりに関心を寄せていきました。「日本の警察は親切でやさしい」という感想や、防犯や防災など、事件や事故を未然に防ぐという日本の警察の体制に感服した声が聞かれました。



▲地域課の杉浦警部補

世界であそぼう!

「日本力を知り、日本人力を知る」

主催：半田商工会議所 共催：半田国際交流協会

講 師：竹田 恒泰

[作家。慶應義塾大学講師（憲法学）
旧皇族・竹田家に生まれる。明治天皇の玄孫。]

日 時：平成23年9月18日（日）

15:00～17:00

場 所：半田商工会議所 3階 大会議室

参加費：無料

申込先：半田国際交流協会事務局

第9回 こんにちわーると フェスティバル

日 時：平成23年11月6日（日）
10:30～15:00

場 所：半田市福祉文化会館内 講堂・ホワイエ

参加費：無料

いろんな国の紹介ブースや、パフォーマンスなど、子供から大人まで国際的な雰囲気を楽しめます

ボランティア募集!

一緒にフェスティバルを盛り上げてくれるイベントボランティアの方、募集中です！！



ミッドランドから高校生来半！



姉妹都市ミッドランド市とは、1981年6月の姉妹都市提携の翌年から、隔年で相互に交換生を派遣し合っています。今年は受入れの年で、3名の高校生が来半し、7月22日から8月10日の3週間、それぞれ3家庭でホームステイをしました。

半田市より委託を受け、半田国際交流協会が主体として、この受入れ事業を企画・運営いたしました。

Q:日本での一番良かった経験は何でしたか？

A:すべてが大好きでした！電車に乗ること、地下鉄や、もちろん、新幹線も。温泉や海に行ったり、お茶会を見学することも好きでした。神社、お寺、名古屋城も大好きでした。それから、小さな出来事も好きでした。ホストファミリーの兄弟とメロンパンを食べたり、面白いCMを見て笑ったり、車の中で歌ったり、自動販売機で買ったり、一緒に新しい所を歩いてみたり、そして、どの食事でも初めてのものばかりでとても良かった。それと、家族みんなで「いただきます」と言ったり、食べ終った後に「ごちそうさま」というのもとても良かった。それに、たたみの上で、冷たいお茶を一緒に飲んだり、私のために用意された特別なスリッパを見るのも。蝉の声や兄弟の声を聞きながら朝に歩いたり、お母さんの味噌汁が私を待っているのも大好きでした。花火も、お風呂も、招き猫も、プリクラも、「いらっしゃいませ」という声も、お箸も、日本で好きになった大切な家族も、私は恋しくなるでしょう。



Emily Bischoff
エミリー・ビショフさん



ホームステイを受け入れて

竹内 紀久子さん(キーナン君ホストファミリー)

Keenanを空港で見送ってから、「もっと体調に気を配ってあげなければ…」「もっと語学力があれば…」と悔やむ事ばかり。異国地で熱を出し、言葉もあまり通じず、どんなに心細かっただろう。今回の受け入れでは、後悔ばかりが心に残ってしまいそうだった。

しかし、高校生の娘と自転車で高校へ行き先生や生徒と話したり、学祭用の「たません」を試食したり、中学生の息子やその男友達とボーリングに行き、ダントツで1位になったり、同年代の子たちと「流しそうめん」をした時に「わらび餅」が上手く取れなかったり、ヤナ場で鮎の刺身を「美味しい」と食べていた時、いつも彼は楽しそうに笑っていた。

日本の伝統的な遊び「けん玉」を気に入り、幾つかの技をマスターし、異国地で医者にかかり点滴を受けるという滅多に出来ない経験をして帰った彼には、きっと体調を崩した事も良い思い出になっただろう、と勝手に考え、私の思い出も楽しんでいた彼の笑顔だけにしようと思う。そしていつも思うことだが、次回受け入れる時の為にもっと英語の勉強をしよう…。

ありがとう、ありがとう

竹内 香さん(ミオさんホストファミリー)

我が家に、素晴らしい娘ができました。「美桜」…ミオは自分のニックネームにこの字を当てていましたが、我が家の小学生としりとりをして遊んでくれるほど日本語の上手な女の子でした。「おそば、おいしいね。てんぷら、これもおいしいね。」と次々日本食を平らげ、にっこり。見ている方も幸せな気持ちになりました。公式行事から帰ってきた美桜に「おかあちゃん、きょうは1日一緒じゃなくてさびしかったです。」と言われ、じんときたこともありました。

ウクレレの弾き語りを聴かせてもらっているとき、アメリカから「姪っ子誕生！」のメールが届きました。ぶつつけ本番でしたが、「誕生会の歌」という日本の曲を合唱してお祝いすると、「ありがとう。美しいね…。」と涙を流して喜んでくれました。

相手の気持ちに寄り添って暮らすことで、短い時間でもこんなに心が通じ合うのだということを、美桜との時間が教えてくれました。私たち家族の忘れられない思い出です。

昨年ミッドランドで娘がお世話になったご恩返しがしたくてお引き受けしたこの交流ですが、終ってみればまた、たくさんの大切なものをいただきました。

キーナン
(ニックネーム)



Keenan Hammer
キーナン・ハマー君



Q:日本の印象はどう変わりましたか？

A:僕はいつも、日本は似たような人達ばかりだと思っていました。しかし、ここに滞在してから、現代的な進歩と古い伝統との結びつきのある文化をじかにみることが出来ました。

Q:もう一度食べたい日本の食べ物は？

A:たこ焼き

Q:日本での一番良かった経験は何でしたか？

A:1日で、遊園地や温泉へ行ったり、剣道の体験をしたりしたことです。

「ホストファミリー」となって得られたこと

松本 繁秀さん(テリーさんホストファミリー)

今回の受入れに際し、中1の娘と小1の息子、中1、小3の姪二人を加え、ウェルカムボードや部屋づくりなどを全て任せ、親は見守るというスタンスでありました。

知恵を絞り、学校や部活動の合間を縫って仕上げた作品や部屋が完成し、まずは満足。テリーの感激振りにまた満足。普段は周りに支えられてばかりの子どもたちですが、「誰かのために」は「自分の喜び」ともなり得ることを実感できたります。

日本語と、ジェスチャーを交えた創造力溢れる面白い英語を駆使し、テリーが寂しい思いをしないように、常に子どもたちは一生懸命伝える努力をしておりました。「テリーのために」を合言葉に、いつものような我儘も言わず、毎日を楽しんでいた子どもたちには脱帽です。テリーを気遣う彼らの言動に成長を感じるなど、改めて発見したこと多く、家族の絆も深まったようです。

外国人ばかりでなく、これから子どもたちはたくさんの人と関わっていくことになるのですから、こうした経験が、彼らの人生をより豊かにしてくれるものと期待しています。

最後に、私たちにできることは小さなことです、こうした草の根の活動が、今後も末永く続いていくよう願っています。



▼会長宅でホストの皆さんとBBQ



市長表敬訪問



送別会

Q:このプログラムはどうでしたか？

A:すばらしかったです。このプログラムで私の人生は変わりました。とてもよくプログラムが設定されていました。それに自分自身を学ばせ、成長させてくれました。

Q:日本での一番良かった経験は何でしたか？

A:私が経験したことのすべてが好きです。

私が経験した中で一番重要であると思ったのは、同じ言語を話さない人達とどのようにコミュニケーションを取れば良いかということです。私たちは音楽や食べ物、そして思いやりでコミュニケーションがとれることを、私は知りました。

テリー
(ニックネーム)



Chantala Kumar

シャンタラ・クマーさん

Q:日本の生活に順応するのに何か難しいことはありましたか？

A:難しいことはなかったです。ただアメリカとの違いに驚いたところくらいです。家も違う、食べ物も、山も、トイレもすべてが違います。でも、適応できました。

みな楽しい思い出ばかり

佐藤 文泰さん(テリーさんホストファミリー)

今回のホストは1人を3家庭がそれぞれ1週間ずつ受け持ちました。我が家は2週目の担当となり、1週目のホストより引き継ぎメモがあり、本人の好みや性格が書かれていましたので、とてもやりやすかったです。また自由時間が一番多い週であり、やりがいがありました。多くの皆さんにも次回参加してもらえた良好な経験だと思います。特に半田市の姉妹都市であるミッドランドとの国際交流とあって、半田市の積極的な姿勢を感じました。ウェルカムパーティーやフェアウェルパーティーはすごく盛り上がり、楽しい時間でした。また高校生の交流会では、トヨタ自動車の工場見学にも参加でき、娘も楽しかったようです。

彼女は日本語が話せず、同級生の娘とはお互い手探り会話で頑張っていました。大変だったと思います。彼女はいろんなことにも積極的で、しっかりした子で、とても楽でした。土曜日に奈良に遊びに行ってきました。奈良の鹿にえさをあげたり、大仏を見たり楽しい時間を過ごせました。

食べ物はいろんなものに挑戦していました。ほとんどのものを「おいしい」と言って食べました。

彼女が家にいた時に地震(震度は3ぐらい)があったのですが、部屋から出てきて、「あれって何? あれが地震? WOW!」とびっくりしていました。

日本がかなり気に入ったらしく、また春休みに遊びに来たいそうです。最後に夏休みの思い出に、楽しい時間を過ごせたことを感謝します。

半田市報10/1号、半田商工会議所会報「カイギショ ゲッポウ」10月号にも、関連記事を掲載しています。



ミッドランド交換生徒 高校生交流会

今年度初めて、ミッドランド交換生徒（3名）との高校生交流会を企画しました。各高校に募集をかけたところ、7校から計14名（男子：6名、女子：8名）の高校生が参加してくれました。

今回、高校生交流会に参加してどうでしたか？

「楽しかった」…14名全員

理由：普段外国の人と交流する機会がないから。



自己紹介や質問など、自由におしゃべり☆

「Good」…3名全員

理由：I really appreciated the opportunity to meet high school students.
(高校生と会える機会を与えてもらって本当に感謝しています。)



ミッドランド交換生徒と話せましたか？

A「話せた」…7名

B「あまり話せなかった」…6名

A理由：交流する時間をとってもらえたから。

B理由：アメリカ人に比べて日本人がちょっと多かったから。
英語が苦手。



バスでゲームをしながら移動～

このような機会がもっとあった方がいいと思いますか？

「はい」…14名全員

理由：友情の輪が広がると思うから。

なかなか交流できる機会はないと思うから。
とても楽しくて英語が好きになるから。

「Yes」…3名全員

理由：It's a fun time. (とても楽しい時間だから。)

I will really miss the friends I made on this trip together.
(この交流会で出来た友達と会えなくなると寂しくなります。)

トヨタ会館&工場見学！



そして翌日、
高校生の提案で
カラオケ大会♪

交流会についての感想

- ・高校生だけで歳が近いので、より話しやすくてとても良い機会だった。
- ・普段なかなかこのような機会はないのですごく楽しかった。
- ・普段あまり聞くことのないネイティブの英語を聞いて、楽しかったし勉強になった。
- ・I really had a lot of fun and everyone was extremely friendly and worked very hard to speak English for us. Thank you for the opportunity.
(楽しかったし、みんなとフレンドリーで、私達のために一生懸命英語を話そうと努力してくれました。機会をありがとうございます。)
- ・Very fun, well planned good to meet high schoolers.
(とても楽しかったです。高校生と会えてとても良かったです。)



ミッドランド高校生の3人と初めて会うときには少し緊張しましたが、彼らと話して、一緒に過ごした時間は本当に楽しくて有意義なものでした。言葉の壁や文化の違いに戸惑うこともありますが、同年代の外国の人と交流することで、必ず何か得るものがあります。なによりも、おなじ地球人として、遠い国に友達ができるることは素晴らしいことです！この交流会がこれからもずっと続いていって欲しいと思います。

（竹内健人君・半田高校3年）

Cheese!!!





ブータン王国から青少年来半！

2005年「愛・地球博」において、半田市のフレンドシップ相手国であったブータン王国との交流は、2008年に発足した半田ブータン青少年交流協会が中心に活動を進めています。今年1月13日から20日までの8日間、高校生3人と引率の先生1人が来半し、市内にホームステイしました。



イシェさんが思う

GNH(国民総幸福量)って？

ブータン王国第4代国王陛下は、“Gross National Happiness”『国民総幸福量』という、今までになかった哲学をブータンに取り入れ、“Gross National Happiness”は“Gross National Products”よりも重要であるとおっしゃいました。我々にとって、ブータンの“Gross National Happiness”は安全の確保であり、また有形及び無形の歴史遺産を豊かにすることであり、一方我々の社会的及び文化的構造を強化するものです。それは、我々の生活のスタイルなのです。

それによって我々の社会は自然と調和して暮らしていくべきです。我々はこの価値観を感覚の鋭い他の人々と共有していくべきです。我々は我々の豊かな文化遺産を保存し、一方わが国の経済的発展を追及します。

物質的繁栄という形での物理的な発展は、精神的発展である人間の内面的な成長を犠牲にして達成されるべきものではありません。

我々は我々のユニークなアイデンティティと価値観を発展させ保存していくべきです。それは、我々の伝統的文化と芸術の“The 13 Zorig-Chusum”で、言語、文学、芸術、建築、音楽、ダンス、工芸、スポーツなど13の方面に分類されています。突き詰めれば、“Gross National Happiness”は、自然環境を安定させる中で精神的な発展と経済の発展をバランスさせることです。

我々は“Gross National Happiness”を家庭で、学校で、ブータンの社会の中で学びます。

我々の社会は他の人を大切にし、両親、年上の人、先生、友人を尊敬します。

我々は植物と動物を含む他の生き物を大事にします。

それゆえ、GNH“Gross National Happiness”はあらゆる生き物に幸福をもたらすのです。





6/19 知多火力発電所見学
(日本語学習生)

外国人生徒さんとボランティアの先生で、知多火力発電所へ野外学習へ行きました。火力発電の原理について説明を聞いたり、大きなボイラーやタービンを見たり、みな興味津々で見学していました。

インドネシア・フィリピン・中国・カンボジア・スリランカ・ネパールそして日本の7カ国、37名が参加しました。

7月24日(日)毎年恒例の七夕交流会が雁宿ホールで開かれました。9カ国104名(うち外国人40名)の参加があり、会員お手製のゲームや、お琴体験、浴衣試着などを楽しみました。

折から、半田滞在中のミッドランドからの高校生も来て、浴衣を着たり、お寿司を食べたりして、体験していただきました。

用意された笹の枝には、「お母さんに会いたい」「東北の人が元気になりますように」「日本語ができますように」「力とお金入りますように」「彼女ができますように」などと書いた笹飾りが揺れていきました。

最後はみんなで輪になって盆踊り。

浴衣を着た外国人も、高いヒールをはいた若い女性も、子供もみんなで踊って散会となりました。



7/24 七夕交流会



8/21 成岩3区清掃活動

これからも、このような活動に
参加したいです。
(中国)



8/21 住吉区防災訓練

自分の国にはない訓練を体験できて
よかったです。
(スリランカ)

外国人生徒さんが協会スタッフと一緒に、居住区の清掃活動、防災訓練に参加しました。初めて自治会活動に参加することで、皆さんに顔を覚えてもらうこともできました！

半田国際交流協会にご入会ください！



年会費 個人会員	2,000円
団体会員(1口 5,000円)	2口以上
法人会員(1口 5,000円)	
・従業員数 1名～29名	1口以上
・従業員数 30名～49名	2口以上
・従業員数 50名～	4口以上

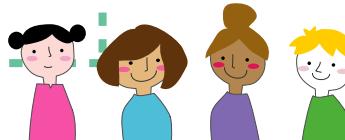
申込先：半田国際交流協会(雁宿ホール内1階)
TEL:0569-26-1929 FAX:0569-26-1992
E-mail:hia@poplar.ocn.ne.jp
HP:<http://www.handakokusai.ecnet.jp>

♥ ボランティア募集！ ♥

日本語教室、イベントなど、半田国際交流協会の活動に、ボランティアとして、是非お力を貸してください。
随時受付中です！

ホームページアドレス <http://www.handakokusai.ecnet.jp>

半田国際交流協会 検索



発行／半田国際交流協会 半田市雁宿町1-22-1
TEL:0569-26-1929 FAX:0569-26-1992